

## 滋賀のアール・ブリュットに関するアンケート結果

県では、アール・ブリュット作品の魅力を皆様に広く伝えるため、今年度は近代美術館でアール・ブリュットの企画展を開催したほか、アール・ブリュット作品の展示を行う場所の公募を新たに行うなどの施策を展開しています。

つきましては、アール・ブリュットの現在の認知度を測るとともに、来年度以降の効果的な発信方法を検討する参考として、アンケートを実施しました。

★調査時期：平成27年12月

★対象者：県政モニター397人

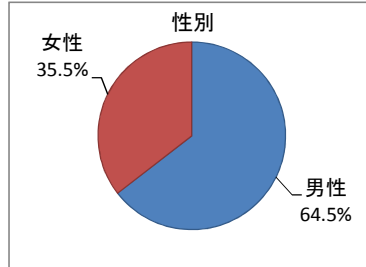
★回答数：327人（回収率82.4%）

★担当課：文化振興課

（※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。）

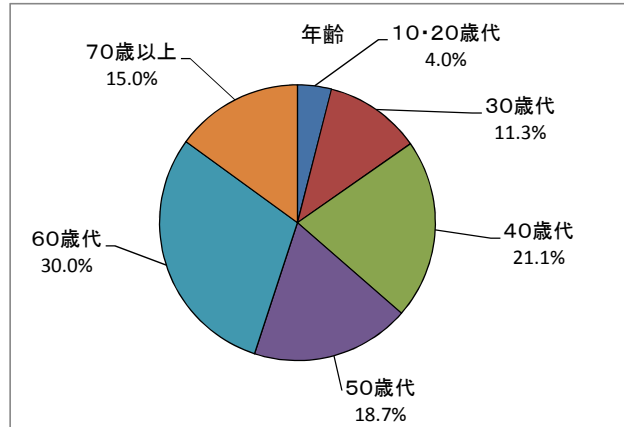
### 【性別】

項目	人数(人)	割合(%)
男性	211	64.5
女性	116	35.5
合計	327	100.0



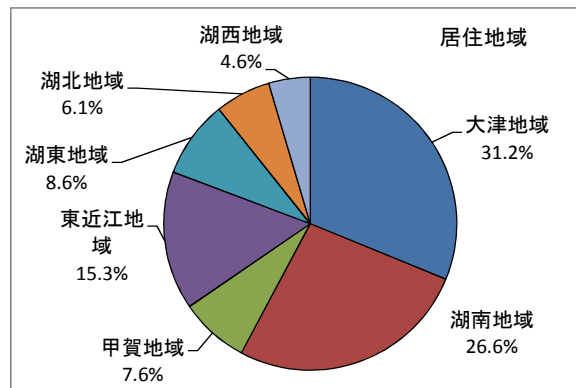
### 【年齢】

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	13	4.0
30歳代	37	11.3
40歳代	69	21.1
50歳代	61	18.7
60歳代	98	30.0
70歳以上	49	15.0
合計	327	100.0



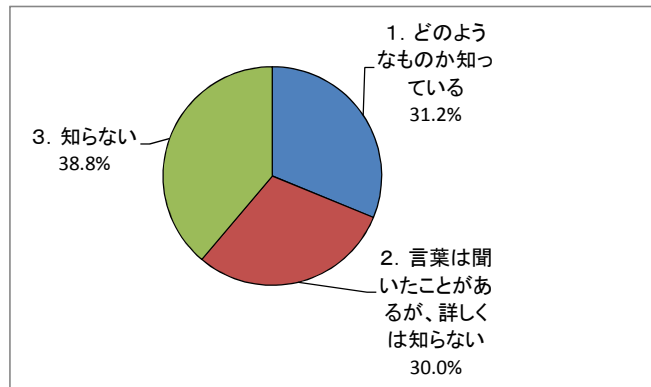
### 【居住地域】

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	102	31.2
湖南地域	87	26.6
甲賀地域	25	7.6
東近江地域	50	15.3
湖東地域	28	8.6
湖北地域	20	6.1
湖西地域	15	4.6
合計	327	100.0



### 【問1】アール・ブリュットを知っていますか。(回答チェックは1つだけ)(n=327)

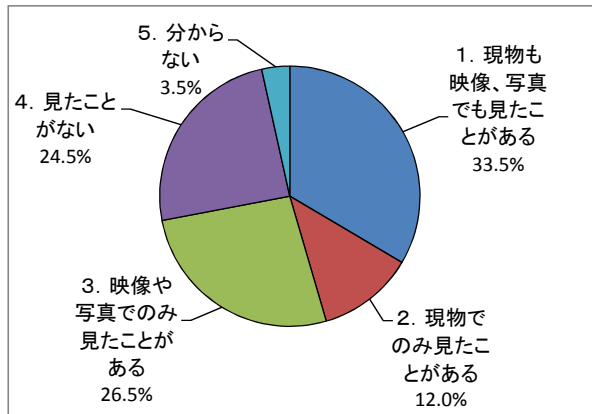
項目	人数(人)	割合(%)
1. どのようなものか知っている	102	31.2
2. 言葉は聞いたことがあるが、詳しくは知らない	98	30.0
3. 知らない	127	38.8
合計	327	100.0



【問2】※問1で「1. どのようなものか知っている」または「2. 言葉は聞いたことがあるが、詳しくは知らない」と回答された方におたずねします。

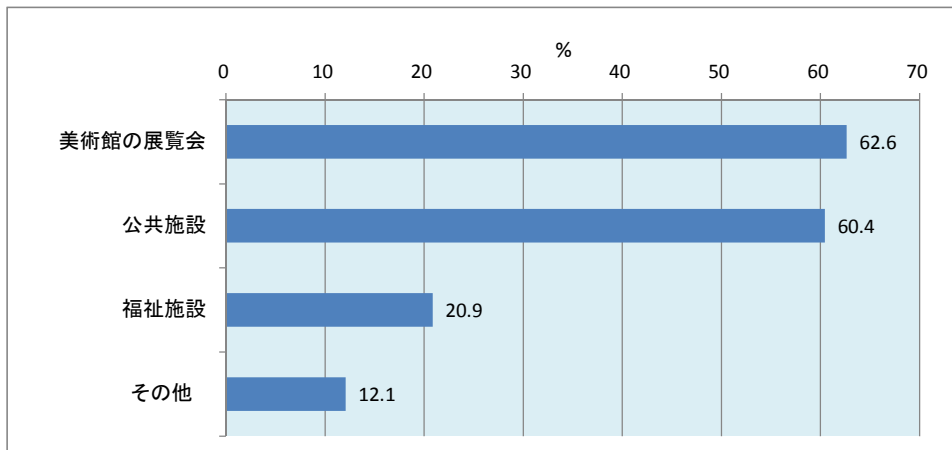
アール・ブリュット作品をご覧になったことがありますか。(回答チェックは1つだけ)(n=200)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 現物も映像、写真でも見たことがある	67	33.5
2. 現物でのみ見たことがある	24	12.0
3. 映像や写真でのみ見たことがある	53	26.5
4. 見たことがない	49	24.5
5. 分からない	7	3.5
合計	200	100.0



【問3】※問2で「1. 現物も映像、写真でも見たことがある」「2. 現物でのみ見たことがある」と回答された方におたずねします。アール・ブリュット作品(現物)をどこでご覧になりましたか。(回答チェックはいくつでも)(n=91)

項目	人数(人)	割合(%)
美術館の展覧会	57	62.6
公共施設	55	60.4
福祉施設	19	20.9
その他	11	12.1
回答者数	91	



【問4】※問2で「1」「2」「3」と回答された方におたずねします。

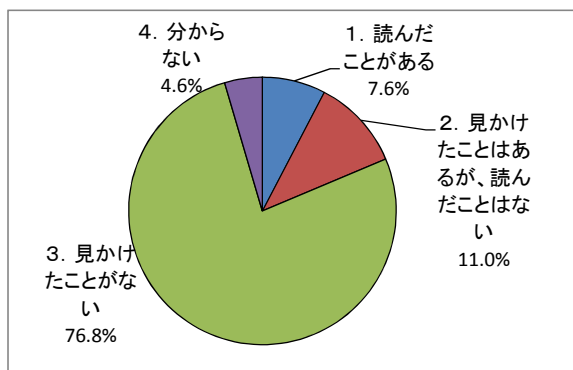
アール・ブリュット作品をご覧になっていかがでしたか。感想等をお聞かせください。(任意)(抜粋)

- 細かい作業をこつこつ続けて出来あがった粘土細工や絵画は見ていて圧倒されつつも、引き込まれる魅力を持っている。縄土器ってこんなふうにしたのでは?…と思いをめぐらせる気持ちになる。
- ストレートで計算のない、生命の息吹が感じられる作品だと思いました。
- 素朴で力強い作品の数々に接する時、見ているだけで元気がわいてくる気がします。
- 力強い作品に魅了されました。感じたことを表現でき、観る人に想いを伝えることができる力は障碍の有無ではなく、その人個人の才能だと思います。
- 芸術といえば、堅苦しく考えますが、この作品は個々の持つ感性が意のままに表現され、見る人それぞれが固定観念を持つのではなく自由に鑑賞できることが素晴らしい。
- 障害者の方々の作品は、目を見張るものが多い。普通の者では描けない(作れない)ような作品が多く、そのセンスはすばらしいと思う。それは、障害のある/なし、ではなく、その作者個人の、独自の芸術性(特別な才能)を備えておられるのだと思う。
- 県立美術館で初めて鑑賞させて頂きました、とても良くできた作品が多く感激しました。私は芸術には縁遠い人間で作品の専門的な評価はできませんが、作品に込められた思い、気持ちは伝わってきました。本当に良い機会を与えてもらい感謝です。
- 色んな表現の方法があると思った。過激そうに見えるものもあるが、本当の生の表現だと思うので、そこに価値があると思う。選定する人の価値観が過大に介入しないことを望みたい。
- 才能がある人達は何処にでもありますので、作品を発表出来る場所の提供と機会を多くしてあげる施策が必要と考えます。
- 近代美術館でこの種の作品展を初めて鑑賞したが正直私は今一理解できなかったが、同伴の案内は熱心に鑑賞していて興味を持っていた。

- ・アール・ブリュット作品の全てとは申しませんが、持って生まれた才能は薄れることは無いのだということを実感しました。  
青少年、特に義務教育期間の児童・生徒を美術館へ引率するなどして、アール・ブリュット作品を鑑賞させると良いと思いました。文字どおりの情操教育になると思うからです。
- ・なかなか興味深いものがある。本県が「アール・ブリュット」の先進県と言うことは誇らしいものである。もっと一般の作家とコラボしてもいいのではないか。
- ・生き生きとした表現方法で、何かを訴えかけるような作品もあれば、何を表現しているのか理解しがたい作品もあり、鑑賞方法が難しいと感じました。
- ・アール・ブリュット以外の作品と同じ。好きなものもあれば、そうでないものもある。
- ・世界に2つとない作品ができていくことの素晴らしさを感じる。滋賀県に信楽などのアールブリュット作品を産みだす環境があったこととそれを引き出す先見的な指導者がおられたことが非常に良かった。
- ・美術の専門的な教育を受けている・受けていないにかかわらず、その作品に対して、素敵だなと思った。
- ・面白い作品が多い。アール・ブリュットだけを切り離さず、他の美術作品と合わせて鑑賞できるようにしてほしい。
- ・思っていたものとは全く違って、感激したのと同時に驚きの一言でした。さらにもっと多く広く知られるようになれば良いと思います。
- ・芸術に関して余りよく知らないが、これまで見た作品では素朴さや力強さを感じて、もっと多くの人に見てもらいたいと思った。  
作者の生きがいに繋がる活動でもあるので、展示の機会を上げ自発的な技能向上が計られることが望ましい。
- ・芸術の価値は、見る人によって違い、見る人に何かを訴えたり、何かを感じさせたり、何かを考えさせることによって価値が生まれるものだ。名前がよく知られている人の作品でなくても、見る人に何か変化をもたらすことができるのであれば、その作品は芸術品であり、貴重なものとなると思う。

【問5】県では、アール・ブリュット作品や、作品を鑑賞できる場所・創作現場を紹介する冊子『アール・ブリュットガイドブック』を発行し、県内各地で配布をしています。この冊子をご覧になられたことはありますか。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 読んだことがある	25	7.6
2. 見かけたことはあるが、読んだことはない	36	11.0
3. 見かけたことがない	251	76.8
4. 分からない	15	4.6
合計	327	100.0

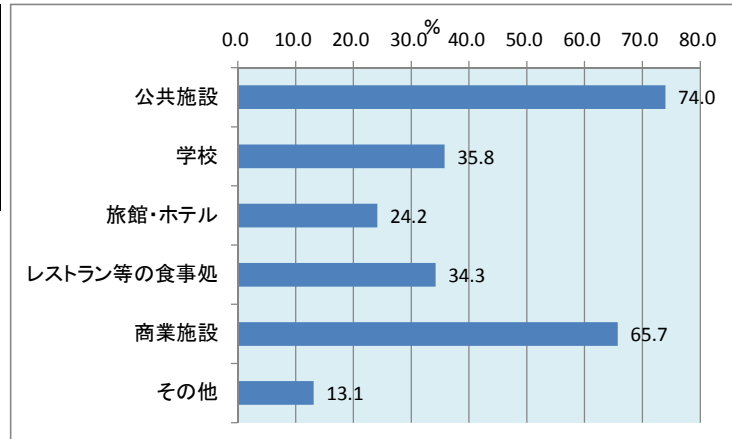


【問6】※問5で「1. 読んだことがある」と回答された方におたずねします。  
『アール・ブリュットガイドブック』の感想をお聞かせください。(任意)(抜粋)

- ・作品がつくられている工程が紹介されているところが、作品を見る時により躍動感を感じられずばらしいなと思いました。
- ・面白いけど、暗い作品が多い気がする。
- ・お金がかかっている。
- ・図書館でもらい読みました。私の住んでいる地域の作家などが取り上げられており、改めてアール・ブリュットの存在を身近に感じることができた。
- ・作者のおいたち等詳しく記載されており、興味深く読みました。冊子を読むことで気になった作者の他の作品について知ることができてよかった。
- ・私は、美術系が得意ではありませんので、作品をみて、うまいな、上手だなと思いました。
- ・分厚くてきれいな冊子で立派なものだとおもった。
- ・感動した。
- ・多くの作家を紹介し、作品を掲載しているのが良いと思った。  
アールブリュット＝障害者の芸術という編集には疑問がある。3歳児ぐらいの子どもの芸術作品もあってもいいのではないでしょう。
- ・★「アールブリュット」の文字   ★「生の芸術」という語感   ★「人間の本質にせまるアート」の「本質」という言葉の深み  
・・・等から「アールブリュット作品を見てみたい！」という想いにさせる効果があると思う。文字だけにした点が優れている。
- ・よく理解できていませんし、好きな芸術作品ではありません。
- ・きれいでわかりやすくよくできている。面白味とか思わず手に取りたくなる魅力という意味では物足りない気もする。
- ・分かりやすい構成である。なんで滋賀県で行っているかの説明をもっと分かりやすくしてほしい。
- ・こんな風に考えることができる人はどんな人なんだろう。とか考えることが楽しくなってくる。

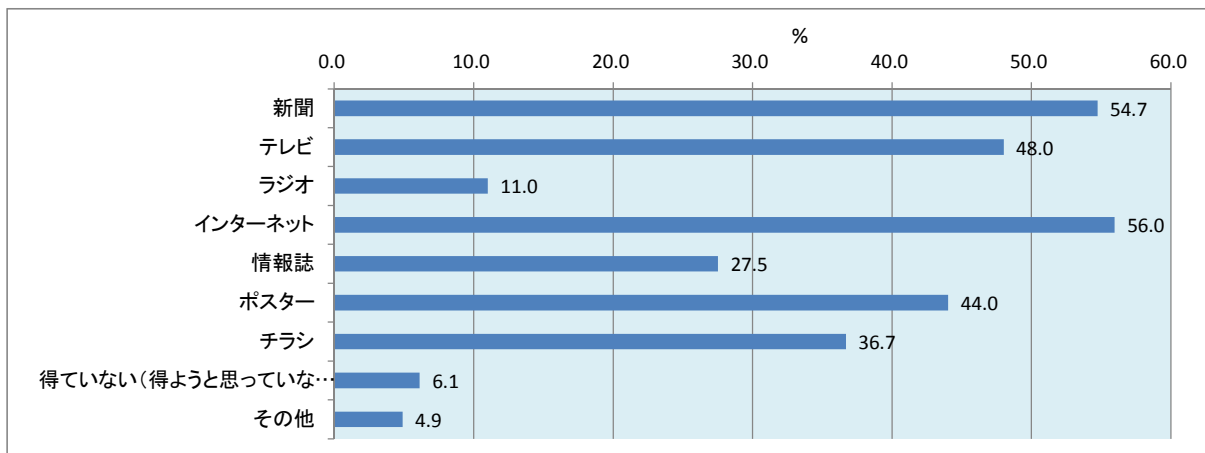
【問7】県では、より多くの県民の皆様にアール・ブリュット作品に触れていただけるよう、県内各地でのアール・ブリュット作品の展示を行っています。  
アール・ブリュット作品の魅力をより多くの方に知っていただくためには、どのような場所に作品の展示があるとういと思われませんか。(回答チェックはいくつでも)(n=327)

項目	人数(人)	割合(%)
公共施設	242	74.0
学校	117	35.8
旅館・ホテル	79	24.2
レストラン等の食事処	112	34.3
商業施設	215	65.7
その他	43	13.1
回答者数	327	



【問8】普段、展覧会等の美術情報をどこから得られますか。  
(回答チェックはいくつでも)(n=327)

項目	人数(人)	割合(%)
新聞	179	54.7
テレビ	157	48.0
ラジオ	36	11.0
インターネット	183	56.0
情報誌	90	27.5
ポスター	144	44.0
チラシ	120	36.7
得ていない(得ようと思っていない)	20	6.1
その他	16	4.9
回答者	327	



【問9】その他、滋賀県におけるアール・ブリュットの取組について、ご提案やご意見等がありましたらお聞かせください。(抜粋)

- ・以前、パルコだったか、各店舗に作品がさりげなく飾られていて、違和感なく、まるでインテリアのようになじんでいた。このような取り組みが全県で広がるとういと思います。
- ・すばらしい取り組みだと思います。世界的にも高い評価を得られる作家の方々がいらっしゃるのに、作品を見る機会が少ないなんてもったいない！もっともっと躍動感あふれる作品を、どんどんいろんなところで紹介していただきたいと思います。滋賀県はその最先端におられると思います。県内だけでなく、県外にももっと情報を発信していただきたいと思います。
- ・芸術は特定の有名なアーティストだけのものではありません。名もなき表現者達の作品のすばらしさを伝えていくこの取り組みはとてもステキだと思います。大人であれ子どもであれ、障害者であれ、あらゆる人が、自己表現を楽しみ、それを共有していくこの取り組みは、地域を魅力的にすると思います。
- ・アール・ブリュットの開催地が、湖西地方でないのが残念です。現在の開催地では、なかなか見に行けないのが現状です。
- ・県内広いので難しいかもしれませんが、都市部以外でもアピールがほしいです。
- ・アール・ブリュットのPRが足りないと思います。私自身は美術展覧会は好きなので、アール・ブリュットの作品展が身近であれば、是非行って観賞してみたいと思います。

- ・良いことだと思う。滋賀県ならではの取り組みを地道に進めて定着してほしい。信楽や伝統文化、古い芸術文化も多く、新しいだけでなく昔ながらのものとも同時に広めてほしい。
- ・私だけかもしれませんが、全く知りませんでした。まずはいろいろな所で広く知れわたるような取り組みを期待します。
- ・アールブリュットに力を入れてぜひ県外や海外に取組を発信してほしい。自然と芸術双方の豊かさ、滋賀の大きな魅力の一つだと思う。
- ・芸術的な指導を受けてない方々の作品ということで、表題のような生の声が出ていると思う。世界的に取り上げられている代表的な方々だけでなく、色んな方の作品を幅広く扱うことも必要だと思う。また作品だけでなく、その方たちの環境なども世間に周知していくのはとても重要だと思う。
- ・障害者の作品というとならえ方ではなく、本来の意味である、正規の製作教育を受けていない人々の作品としてとらえて、もう少し製作者の幅を広げる必要があるように思います。
- ・海外からも評価が高いのになかなか目にする機会が無いのが残念に思う。発表する場の拡大を望みます。
- ・こういう文化を、どのようにして育て、広げていくかはたいへん課題が多いですね。広い、散漫などでもいえる市街地の分散で、人が集まりにくい場所での展示効果を狙うのは容易ではありませんね。滋賀県で車でしか行けないところは行きたくありません。目当てで行ってもそこしか文化がなく、楽しみが少ない。文化の集積地をどこかに作るべきですね。県立の美術館・図書館のあの場所、不便すぎると思いませんか？ 計画した人間は、自然の中で、なんて思ったのでしょうか。電車1本で行ける京都や大阪、神戸に行ってしまいます。プラスαの楽しみが、そこにあるからです。
- ・他県にくらべて進んでいる気はするが、まだまだ身近なものとはなっていない。わざわざ出かける場所(博物館や美術館)だけではなく、駅や市役所、図書館など普通に人が集まる場所での展示などを検討したらいいか。
- ・滋賀県はもともと糸賀先生をはじめとした諸先輩の先進的な取組もあり、障がい者福祉の先進県である。その取組の一つでもある「アール・ブリュット」をもっと広く県民に知ってもらえるよう、いろんな機会をとらえて是非PRして欲しい。
- ・PR不足に尽きると思います。県・市町村は出来る限りの機会を生かしてほしいと思います。
- ・積極的に各地で取り組まれておられることに賛同します。さらに草の根的に、よりきめ細かく公共の場所での展覧会、展示会に発展していくことを願っています。
- ・アール・ブリュットが何かわからないので、目にしていないのかもしれないが気付かない。特別な興味がない限り、普段聞きなれない言葉だったら覚えられないし、興味も持てない。